

2020年6月11日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証一部 / 証券コード: 3762)

クロス・ヘッド、テレワーク時代の情報漏洩対策と生産性向上を ワンストップサービスで実現する 「CROSS HEAD Advanced Security Service」の提供を開始

当社の連結子会社（持ち株比率：100.0%）であるクロス・ヘッド株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：関根 尚）は、テレワーク時代の情報漏洩対策に寄与する様々なエンドポイントセキュリティ製品やサービスを、ワンストップで提供する「CROSS HEAD Advanced Security Service（以下「CASS）」の提供を開始します。

昨今、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、多くの企業でテレワークや在宅勤務が進んでおり、一層のセキュリティ対策強化が求められる一方で、最適な製品の選定、導入コストの発生、日々の運用といった課題が生じています。

本サービスは、利便性や生産性、業務効率を維持しながらテレワーク時代に適応する新しい働き方の実現を支援すべく、様々なエンドポイントセキュリティ製品や関連サービスをワンストップで提供します。CASSを通じて、セキュリティ対策強化における最適な製品選定や導入をはじめ、導入後の24時間365日の有人監視サービスや定期的なコンサルティングによる支援等、従業員満足度と生産性の向上に貢献してまいります。

クロス・ヘッド テレワーク時代の情報漏洩対策と生産性向上を ワンストップサービスで実現する 「CROSS HEAD Advanced Security Service」の提供を開始

クロス・ヘッド株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:関根 尚 以下 クロス・ヘッド)は、テレワーク時代の情報漏洩対策に寄与する様々なエンドポイントセキュリティ製品やサービスを、ワンストップで提供する「CROSS HEAD Advanced Security Service」(以下 CASS)の提供を開始します。CASSの一貫したサービスにより、複数の異なるエンドポイントセキュリティ製品を選択する場合でも、企業は最適な製品を、安定したサービス品質で一元的に導入・利用でき、テレワーク時代の従業員満足度と生産性の向上に貢献します。



〇背景

昨今、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により、多くの企業でテレワークや在宅勤務が進んでいます。こうした企業では、大容量のデータを保持するPCやスマートフォンによる社外からのアクセス、BYODによる個人所有デバイスからのアクセスなどに対し、一層のセキュリティ対策が求められています。しかし一方で、セキュリティ対策強化の副作用として利便性や生産性、業務効率の低下といった悪影響への懸念も生じます。また、最適な情報漏洩対策製品の選定の手間や導入コスト、日々の運用に掛かる工数などが課題となり導入検討が保留となるケースも発生しています(当社事例)。そこでこのたびクロス・ヘッドは、利便性や生産性、業務効率を維持しながらテレワーク時代に適応する新しい働き方の実現を支援すべく、CASSとして様々なエンドポイントセキュリティ製品や関連サービスをワンストップで提供します。CASSを通じてセキュリティ対策強化における最適な製品選定や導入、利用を支援し、関連サービスを安定した品質で提供することで、テレワーク時代の従業員満足度と生産性の向上に貢献してまいります。

○サービス概要

CASS のサービス開始当初は、クロス・ヘッドが暗号化ソリューションカンパニーとして長年培ってきたナレッジや知見を活かし、テレワーク環境でのセキュリティ対策強化と利便性や生産性、業務効率を両立させる有効な手段の1つである暗号化ソリューションに関連する製品およびサービスの選定・導入支援から提供開始します。対象製品は当初 3 製品とし、その後順次対象製品を拡大。2020 年 7 月末をめどに計 5 製品からお客様のセキュリティ対策ニーズに適した製品および関連サービスを提供予定です。また、製品選定後はお客様環境への導入を見据えた機能検証もご支援します。これにより機能検証の費用と工数を最小限に抑え、効率的な製品導入が可能となります。さらに、製品導入後もクロス・ヘッドの経験豊富な技術者によるプロフェッショナルサポートをはじめ、24 時間 365 日の有人監視サービスもご提供しており、お客様環境のセキュリティ対策において、高レベルのサービス可用性の実現をご支援します。なお、CASS 提供開始時の対象製品はクロス・ヘッドで多数の導入実績のある「SecureDoc^{※1}」、「BRODIAEA safeAttach^{※2}」、「SecureCoreRSS^{※3}」の 3 製品となります。その後 2020 年 8 月までに順次「BitMana^{※4}」、「DataClasys^{※5}」を提供開始する予定です。その後も多様なセキュリティ関連のニーズに応えるべく、定期的なコンサルティングによるセキュリティ対策の最適化支援や、セキュリティ運用業務のアウトソースなど、さまざまなサービス拡充を予定しています。

※1 SecureDoc: WinMagic 社の製品。HDD/SSD をセクター単位で暗号化。2013 年度より日本国内で新規出荷本数のシェア No1*となるなど、モバイル PC の暗号化市場をリード。(* 株式会社アイ・ティ・アール「ITR Market View: 情報漏えい対策市場 2020」より)

※2 BRODIAEA safeAttach: オレンジソフト社の製品。メール送信時の添付ファイル/本文を暗号化。メール誤送信防止機能も有し、国内の自治体、金融業、製造業などで採用多数され、クロス・ヘッドではクラウド型サービスとしても提供。

※3 SecureCoreRSS: 飛天ジャパン社の製品。USB メモリなどの各種外部記録媒体の利用制御機能とログ証跡管理機能を有し、国内の公共ユーザーで採用多数。

※4 BitMana: WinMagic 社の製品。Microsoft 社が提供する BitLocker のマネージメントソリューションとして、回復キーや暗号ステータスの制御を一元管理。

※5 DataClasys: Dataclasys 社の製品。独自の暗号化・DRM 技術を元に開発された機密情報保護・情報漏洩対策製品。情報の重要性に基づいた「機密区分」を設定し、あらゆるファイルを「ファイル単位」で暗号化。様々なアプリケーションで暗号化したままファイルの利用が可能。

○サービスロゴ



○サービス紹介ページ

https://www.crosshead.co.jp/products/sec_all/cass/index.html

○価格／仕様

製品/サービス : お問合せ下さい
導入支援 : お問合せ下さい
コンサルティング : お問合せ下さい



○クロス・ヘッドについて

クロス・ヘッド株式会社は、クラウドサービスを最大限活用することでビジネスの生産性向上を実現する IT ソリューションカンパニーです。グローバル化やボーダーレス時代における競争力の維持・強化、ダイナミックに変貌するプロジェクトチームのパフォーマンス向上、多様化する社員の柔軟な働き方の実現等、様々な経営課題を情報技術と人(プロフェッショナル)によって解決します。

[本社所在地]	東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー27F
[代表者]	代表取締役社長 関根 尚
[事業内容]	ソリューション事業(IT 基盤のコンサルティング、設計、構築)、プロダクト事業(海外 IT 製品の輸入・販売・サポート)、エンジニアサービス事業(ネットワークエンジニア常駐派遣)等
[オフィシャルサイト]	https://www.crosshead.co.jp/
[資本金]	3 億 9,500 万円
[従業員数]	384 名(2020 年 4 月 1 日現在)

○お問合せ先

TEL : 03-5793-3381

E-mail: ch-bpd@crosshead.co.jp

担当 : マーケティング本部

- * WinMagic,および SecureDoc は、米国およびその他の国における WinMagic の商標です。
- * Microsoft, BitLocker は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- * その他の本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。